

# 休校中にお家でもできる「生活上手な人」になる為の勉強

- 「生活単元学習」という授業を家でやってみる -

『特別支援教育では「生活すること自体が上手になるための学習」(生活単元学習)が、以下の2つの目的のために行われています。

①計画→準備→実施→反省→再計画というサイクルを何度も何度も回すことで「生活すること自体が上手な人」にすることです。例えば、夕飯を作ることもしかり。休日に遠出をすることもしかり。誕生会をすることもしかり。支援者である大人の生活の中もこの計画→準備→実施→反省→再計画のサイクルはグルグルグルグルを延々と続いていますよね。

②机の上で行われた学習成果(例えば文字が読めるとか、歌が好きになったとか、絵が描けるようになったとか)を、実生活の中で使うことで「生活の中で使うことができる活きた力」にしていくことです。文字を読める延長にレシピを読めるようになったとか、歌が好きになった延長でカラオケボックスに行けたとか。逆もあって、「カラオケに行きたいなら歌詞を読めないとな」と、国語につなげることもあります。

『なので、お家でのどんなに小さいことでも構わないので、お父さんお母さんが一緒になって計画→準備→実施→省察→再準備をしてくださると、子どもはそれだけ「生活上手な人」として成長していきます。

『以下、例を3つ挙げます。この生活単元学習がお家でできれば、確実に毎日が充実するはずですよ。

## 例1「おやつをつくろう」

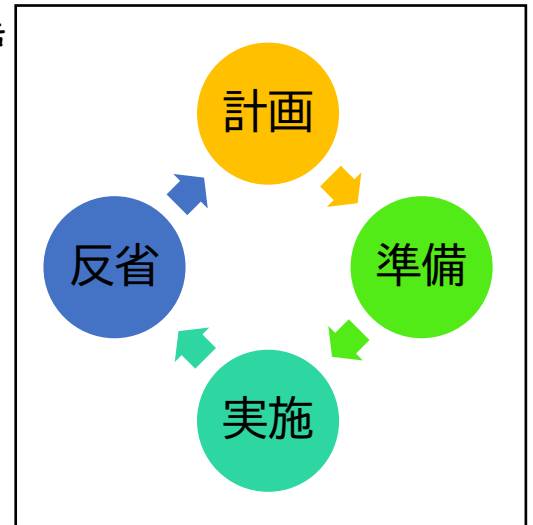
- ①計画 「何のおやつをつくろうかを話し合う」
- ②準備 「どんな材料が必要か?を書き出す」
- ③実施 「レシピを確認しながら作る」
- ④反省 「美味しかったか?次はどうするか?」
- ⑤再計画 反省を踏まえて「次は何にする?」

## 例2「アイロンビーズを作ろう」

- ①計画 「何のアイロンビーズをつくろう?」
- ②準備 「下絵をインターネットでゲットしよう」
- ③実施 「下絵を確認しながら作る」
- ④反省 「上手くいったところはどこ?」  
「上手くいかなかったところはどこ?」
- ⑤再計画 「次は何をつくろう?」

## 例3「散歩がてらジュースを買いに行こう」

- ①計画 「何のジュースが飲みたい?」
- ②準備 「google mapのストリートビューで、そのジュースが売ってるかを確認しよう」
- ③実施 130円を持って行ってみよう!
- ④反省 「どうだった?」
- ⑤再計画 次はいつ行く?何を飲みたい?



## 生活上手な人になろう!

- ① 計画をしよう
- ② どんな準備が必要かな?
- ③ やってみよう!
- ④ 良かったことは何かな?残念だったことは何かな?
- ⑤ 次はどうしたい?他のことをしたい!もアリだよ。